

令和7年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表
(子ども体験塾)

NO	①年数	②連携組織名	③構成自治体等	④事業名	⑤申請額	⑥事業内容
1	R5～ 3年目	アイススケート体験事業実行委員会	東大和市、立川市、昭島市、武蔵村山市	アイススケート体験事業	2,400,000	<p>【目的】 子ども達にアイススケートを体験する機会を提供することにより、子どもたちのスポーツへの関心及びやる気を高めること、スポーツ選手から直接指導を受けることにより、日頃体験できない感動を提供することを目的とする。 また、地域の貴重な資源である東大和スケートセンターを活用し、市内企業との連携による地域の活性化を図る。</p> <p>【内容】 小学生のアイススケート初心者を対象としたアイススケート教室を実施する。 また、スペシャルゲストにフィギュアスケート選手、インストラクターに地域と縁のある女子アイスホッケーチーム(SEIBUプリンセスラビッツ)の選手に務めていただく。</p>
2	R4～ 4年目	多摩・島しょ子ども体験塾島しょブロック実行委員会	大島町、利島村、新島村(式根島)、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村(父島、母島)	感動体験事業	12,000,000	<p>【目的】 島しょ部の子ども達は、海や山など豊かな自然に囲まれた生育環境ではあるが、都会にしかないミュージアム施設や観劇等に訪れる機会が少ない。都会の文化や最新情報に接する機会は、インターネットだけでは限界がある。島しょ部の子ども達が一堂に会し、内地の文化や芸術に直接触れる機会を設け、かつ団体行動を通じて社会性・協調性を育むと共に、島しょ部の未来を担う子ども達の人材育成に資する事を目的としている。</p> <p>【内容】 大島から小笠原まで9町村11島に生活する小学4～6年生を対象とし、合同で都内での博物館見学、ミュージカルの観劇、ホテルでの食事マナー講座体験など、島しょでは体験することのできない社会見学、体験により見分を広げる。</p>
3	H30～ 8年目	西多摩地区伝統・文化体験事業委員会	青梅市、瑞穂町	郷土に根ざす伝統・文化等理解事業	184,000	<p>【目的】 西多摩地区の郷土(伝統・文化・自然等)について、児童が触れる機会を設ける。 学校教育では体験できない伝統・文化の製作体験をはじめとし、学区域を超えて西多摩地域の児童がともに普段活動している郷土についてより深く学び、触れ合うことにより、地域への愛着や地域を愛する心を涵養する。</p> <p>【内容】 ・多摩だるま製作講座 多摩だるまについて、製作者等から説明・講演により理解を深めた後、多摩だるまの顔(絵付け)を体験する。 ・地域の伝統・文化についての見学・調べ学習 講座参加者が多摩だるまやその他の西多摩地域の伝統文化などについて調べる。</p>

令和7年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表
(子ども体験塾)

NO	①年数	②連携組織名	③構成自治体等	④事業名	⑤申請額	⑥事業内容
4	H27～ 11年目	東大和市・東 村山市 広島派遣事業 実行委員会	東大和市、東村山 市	東大和市・ 東村山市 地域の戦 争・平和学 習及び広島 派遣事業	3,428,056	<p>【目的】 身近な地域であった戦争の歴史を学習することや、原爆が落とされた広島市を訪問することといった様々な側面から戦争について学ぶことで、これからの未来を担う子供たちが平和について考え、戦争を起ささないために何が出来るかといったことを考えることができる機会を提供する。</p> <p>【内容(予定)】 1 地域の戦争・平和学習(東村山市・東大和市2市合同で実施) ※広島派遣日程前に実施(令和7年7月下旬に実施予定) (1)東村山市 ふるさと歴史館で学芸員による東村山市での戦争記録の解説及び館内展示の見学等 (2)東大和市 戦後70年東大和市戦争体験映像記録「沈黙の証言者」(DVD作品)の視聴 (3)東大和市 戦争建造物「旧日立航空機株式会社変電所」の見学 (4)参加者によるグループワーク</p> <p>2 広島派遣<令和7年8月4日(月)～6日(水)> ○日程及び主な行事、施設見学(予定) 1日目 被爆者体験講話、グループワーク 2日目 広島市で平和学習(袋町小学校、爆心地、原爆ドーム、原爆の子の像、平和の灯、本川小学校、広島平和記念資料館)、ピースクリエイターになろう ※「ピースクリエイターになろう」は、ひとりひとりの中にある平和の捉え方について、合意形成ワークなどを通じて掘り起こし、新聞紙面に掲載されているニュースを題材にして、身近な課題から紛争解決などの世界の問題について広く「平和とは」を考えることを目的とした参加体験型のワークショップです。前年度にレクリエーションとして実施したところ、参加者から大変好評であったため、今年度も実施を予定しております。 3日目 平和記念式典参列、広島市で平和学習(国立広島原爆死没者追悼平和祈念館)</p>

令和7年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表
(子ども体験塾)

NO	①年数	②連携組織名	③構成自治体等	④事業名	⑤申請額	⑥事業内容
5	H27～11年目	青梅・羽村子ども体験塾実行委員会	青梅市、羽村市	青梅・羽村ピースメッセンジャー事業	3,560,000	<p>【目的】 戦後80年を迎える中で、中学生などの若い世代が戦争について学ぶ機会は、机上での学習が中心であり、戦争を体験した人が減るにつれ、直接話を聞き、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考える機会は減少している。 青梅市と羽村市の中学生が、原爆が投下された広島市を訪問し、現地の中学生と原爆を体験された方を交えた対話や、平和記念資料館・慰霊碑等の見学など、様々な平和関連事業を体験することで、戦争の悲惨さや平和の大切さを自ら考え発信できる人材「ピースメッセンジャー」を育成する。</p> <p>【内容】 1 事前・事後研修等 広島派遣における学びを深めるため、事前研修として原爆が投下された広島市や当時の時代背景について、指導員による講義やグループワークなどを行う。活動の中で、リーダーを中心に平和についての対話を重ね、平和の大切さについて深く感じとり、事後研修では、広島市での体験を改めて振り返り、報告会に向けた準備を行う。 (1)実地踏査(職員等) 1回(6月頃) (2)リーダー研修(大学生リーダー)1回(6月頃) (3)事前研修 3回(6月～7月) (4)事後研修 2回(8月) 2 広島派遣 (1)広島派遣 2泊3日(7月～8月) 3 派遣報告会 一連の取組を通じて、感じたこと・考えたことや平和な未来を築いていくためのメッセージなどを発信していく機会として報告会を開催し、広く世界平和思想の普及啓発に繋げる。 原爆が投下された地と東京での平和への想いの違いを感じ、世界平和のために自分たちのやるべきことを考え、行動につなげていく。 (8月) 4 報告書 事業の取組状況や、参加者が一連の取組を通じて感じたこと等を記録した「平和を願う作文」(中学生)、「事業を振り返って」(大学生)をまとめ、報告書として印刷・製本し、広く周知する。(10月～翌年2月)</p>
6	H25～13年目	子ども国際交流音楽祭実行委員会	羽村市、昭島市、檜原村、奥多摩町、ウィーン国際音楽文化協会	子ども国際交流音楽祭	5,000,000	<p>【目的】 この音楽祭では、市町村の枠を越えて、子供たちが音楽の都ウィーンから招聘した奏者をはじめ、一流の音楽家から指導を受ける。音楽交流(練習)を通じて共同作業の経験、本番での一体感(絆)等、将来を担う子供たちに、音楽授業では味わえないような貴重な経験をしてもらい、音楽を通じて国際感覚を身に着ける機会とする。また、コンサートでは、練習の成果を発表、披露する機会を設け、大舞台上で動かない強い心の醸成と共同で物事を成し遂げた達成感を与えたい。同時に音楽の都ウィーンの著名な音楽家を中心とした世界のトップクラスの演奏を鑑賞する場も提供する。</p> <p>【内容】 大きくは次の2つの事業を実施する。 ①ウィーンフィルを主とした一流の演奏者を招聘し、構成する市町村及び近隣市町村の子供たちに一流のクラシック音楽を羽村市のゆとろぎ大ホールにて鑑賞する場を提供する。また、その際に子供たちの当面の目標になることや若手演奏家の発表する場を提供するため、音楽大学に通う学生や音楽大学等を卒業した西多摩地区の若手演奏家に出演をしてもらう。 ②構成市町村の子供たちへ一流の音楽家による合唱や楽器の指導を行い、羽村市のゆとろぎ大ホールでその練習の成果を発表する。また、吹奏楽部の子供たちにウィーンフィル奏者等による交流演奏を行う。</p>
7	H25～13年目	檜原村・利島村子ども体験塾実行委員会	檜原村、利島村	檜原村・利島村子ども体験塾	4,264,000	<p>【目的】 檜原村・利島村の子どもたちが、年2回、交流しながら様々な体験をして、大きな感動を得ることで、生きる力を身につけ、応用力の高い人材となることを目的とする。</p> <p>【内容】 ①サマースクール(2泊3日の体験事業) 引率者1名、学生リーダー1名に対して7名程度の子ども(檜原村・利島村混同)のグループを作り、利島村の山や海の自然の中で、伊豆諸島特有の生態系や檜原村では体験できない活動を行う。各グループのリーダーを中心に、子ども達が自主的・積極的に行動できるようにプログラムを作成する。 ②ウィンタースクール(3泊4日の体験事業) 引率者1名に対して7名程度(初心者は2～3名程度)の子ども(檜原村・利島村混同)のグループを作り、日常生活では体験することのできない雪山を舞台にスキーやスノーボードを体験する。サマースクールで顔見知りとなった子ども達が再会し、行動を共にすることで更に</p>

令和7年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表
(子ども体験塾)

NO	①年数	②連携組織名	③構成自治体等	④事業名	⑤申請額	⑥事業内容
						及び内容を深め、本格的な交流につなげていく。
8	H23～ 15年目	令和7年度多摩・島しょ子ども体験塾 日野市・八王子市共同事業 実行委員会	日野市、八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団	たにぞうファミリーコンサート	4,000,000	<p>【目的】 日野市・八王子市のオリジナルソング「そらに響け！ヒノソング」、「ぼくらの八王子」の歌とダンスを地域により浸透させ、地域の活性化を図るとともに、手遊び歌を親子で歌い、踊り、触れ合うことで、情緒や親子の結びつきを育む事を目的とする。</p> <p>【内容】 平成21年度事業において作成した「そらに響け！ヒノソング」、「ぼくらの八王子」を中心に、両市の楽曲を制作した本コンサートの中心である「たにぞう」こと谷口國博氏を迎え、手遊び歌などで観客である親子と一緒に歌い、踊ることができるコンサート。このコンサートは、平成22～24年度及び平成26～令和6年度の14年間実施した事業であるが、乳幼児から小中高生とその保護者まで、幅広い世代が一体となって楽しめる構成となっており、目的を十分達成することができる事業であると考えられる。コンサート中で使用する楽曲はCDではなく生バンド(コーラス)が演奏する。コンサートに参加する児童がステージで繰り広げられる「たにぞう」やバックバンドのパフォーマンスを目の当たりにすることにより「本物」と「感動」を体験することができる内容となっているほか、歌やダンスを練習した子どもたちがステージに上がり、「たにぞう」をはじめとするプロのアーティストと同じステージで表現する機会を設ける。 ※たにぞう＝本名：谷口國博、NHKの幼児番組やCMの歌、絵本の執筆で有名な創作あそび作家。</p>
9	H25～ 13年目			トイ・トイオーケストラ！	7,200,000	<p>【目的】 オーケストラを実際に鑑賞する機会の少ない子どもたちに、CDやテレビで味わうことのできない生のオーケストラの大迫力を体感できる機会を設ける。クラシックに親しむとともに、子どもたちが知っている曲もオーケストラで演奏するなど、子どもの興味を刺激し、音楽への興味と豊かな感性を育む。</p> <p>【内容】 (1)東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団によるオーケストラ演奏 (2)東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と子どもたちとの共演 子どもたちが事前練習を経て、オーケストラと共演する。事前練習では、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団員や指揮者によるアウトリーチ活動を行い、当日までの演奏練習を指導・サポートする。 (3)当日の体験活動 ①指揮者体験(5名×2回予定): 公演前のロビーで弦楽4重奏の指揮を体験する。このうち、希望者(2名)は公演中に舞台上で一部の指揮を行う。 ②バックステージツアー(20名予定): 公演前に舞台裏やホール内を案内してもらう。当日の本番に向け準備が進められる様子を見る。 ③ステージ上鑑賞体験(30名予定):公演中にステージ上でオーケストラの演奏を鑑賞する。 ④アナウンス体験(5名予定):舞台袖で来場者へのお知らせなどのアナウンスを体験する。 ⑤楽器体験(20名予定):オーケストラで使用される楽器を体験し、興味・関心を喚起させる。</p>
10	H24～ 14年目	奥多摩町・神津島村子ども体験塾実行委員会	奥多摩町、神津島村	子ども体験塾・神津島洋上セミナー	2,712,000	<p>【目的】 この事業は奥多摩町と神津島村に在住する少年少女が、学校や家庭以外の場で集団行動を行うことにより、社会性や協調性、自立、創造性を育み、また、他地域の少年少女と交流することにより、地域間交流を促進し、かつ地域の将来を担う少年少女の育成を図るため、小中学生を対象に洋上セミナーを実施する。</p> <p>①神津島において、島内の生物を観察し、奥多摩の自然との違いや、島に生息する動植物の多様性を学び、シュノーケリング等の体験を行い、海に面する自然の素晴らしさを体験する。 ②山村地域と島しょ地域という生活環境の違う子供たちが交流の場を設け親睦を深める。 ③山村地域や島しょ地域の子供たちが普段の生活では交流することのできない互いの地域の子供たちと交流すること、集団活動を行うことにより、将来の社会性・協調性などに良い影響を与える。</p> <p>【内容】 ・親子説明会：令和7年7月頃(予定) ・実施場所：神津島村 ・対象者：奥多摩町の小学5・6年生、中学1年生、神津島村在住の小中学生 ・参加予定人数：50名(奥多摩町30名、神津島村20名)、その他(引率者10名)、神津島村(職員等)5名</p>

令和7年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表
(子ども体験塾)

NO	①年数	②連携組織名	③構成自治体等	④事業名	⑤申請額	⑥事業内容
11	H23～ 15年目	子ども雪国体験事業実行委員会	昭島市、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町、長野県栄村	子ども雪国体験事業	4,560,000	<p>【目的】 自然が豊富で、全国でも有数の雪国である長野県栄村(武蔵村山市姉妹都市)に子どもたちを連れて行き、普段経験することのできない雪国ならではの暮らしや知恵を体験させる。また、地元の子どもの文化との文化交流、初対面の子どもの同士での集団行動等を通じて、子どもたちの豊かな人間性や社会性をはじめとする様々な力を育むことを目的として実施する。 毎年定員を上回る応募があり、人気を博している。大自然での感動体験は心の成長を大きく促すものであり、一人でも多くの子どもたちの経験が望まれるため、令和7年度においても引き続き当該事業を実施する。</p> <p>【内容】 長野県栄村で2泊3日の雪国体験事業を実施する。 子どもたちの交流を深める工夫として、3日間を一緒に行動する班は、自治体、学校、学年、性別の枠組を越えて編成する。また、宿泊施設の部屋割りについても初対面同士となるように割り当て、スキー教室については、滑れるレベルによって班を編成する。 ・絵手紙教室(栄村文化体験) ・スキー教室(雪上運動会含む) ・子どもたちの地域間交流(館内レク) ・その他雪国体験プログラム(連携自治体職員が考案するプログラム)</p>
12	H23～ 15年目	秋川流域(あきる野市・日の出町・檜原村)子ども体験塾実行委員会	あきる野市、日の出町、檜原村	秋川流域子ども体験塾小中学生駅伝大会	4,000,000	<p>【目的】 あきる野市、日の出町と檜原村は秋川流域で隣接した自治体であり、昔から「西多摩は一つ」との考えのもと、経済、文化等の交流も盛んである。このような状況を踏まえ、西多摩の魅力の発信、多摩のスポーツ振興を図るため、3自治体共同で子ども体験塾を開催する。 近年、子ども達の体力低下が問題視されていることから、日の出町にある亜細亜大学の陸上部から走り方の実技指導を大会前に受けたり、全国で活躍した選手を招き、駅伝大会で日ごろ見ることができない全国レベルの選手から大会当日に実技指導を受けることで、秋川流域の子ども達の体力向上及び連携を図ることを目的とする。加えて、全国レベルの選手が、ゲストランナーとして走ることににより、応援者等も一体となる大会の感動を参加者に体験してもらう。</p> <p>【内容】 駅伝大会の実施(小学生の部、中学生男子・女子の部) ロードレースの実施 亜細亜大学の陸上部による実技指導 著名選手による実技指導及びゲストランナーとしての伴走など</p>

令和7年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表
(子ども体験塾)

NO	①年数	②連携組織名	③構成自治体等	④事業名	⑤申請額	⑥事業内容
13	H23～ 15年目	多摩市・稲城市子どもスポーツ体験塾実行委員会	稲城市、多摩市、長野県富士見町	～プロから学ぼう～子どもサッカー体験事業	3,273,630	<p>【目的】</p> <p>①多摩、稲城市が出資している東京ヴェルディのジュニア育成に関するノウハウを、2市の子どもたちと多摩市の友好都市である富士見町の子どもたちに還元する。</p> <p>②3市町による広域連携事業を、プロスポーツクラブである東京ヴェルディと協働して行うことにより、自治体間の連携を深めるとともに、各自治体の魅力を高める。</p> <p>③長野県の八ヶ岳に位置する、夏季でも冷涼で空気の澄んだ広いグラウンドや、清潔な集団宿泊施設である多摩市立八ヶ岳少年自然の家等の施設を活用し、大自然の中で子どもたちの健全育成を図る。</p> <p>④東京ヴェルディホームゲームを観戦し、プロの技を目の当たりにすることにより、子どもたちに大きな感動と夢を持ってもらう。</p> <p>【内容】</p> <p>①東京ヴェルディのコーチにより、サッカーの基本から応用、試合までの総合的な指導カリキュラムを展開し、サッカー技術の習得を図る。</p> <p>②2泊3日の宿泊時の部屋割りを3～6年生の混成、並びに多摩市・稲城市・富士見町の混成とし、学年や市町を越えた交流を深める。(※「4.実施期間」(1)に該当)</p> <p>③宿泊事業から一定期間経過後、東京ヴェルディのホームゲームを観戦し子どもたちに感動と夢を与えたとともに、再度東京ヴェルディコーチから実戦形式の指導を受け、習得技術の定着を図る。(※「4.実施期間」(2)に該当)</p>
14	H22～ 16年目	小金井・三宅島連携推進協議会	小金井市、三宅村	青少年自然・文化体験交流事業in三宅	3,944,800	<p>【目的】</p> <p>本事業は、友好都市である小金井市・三宅村の児童間の交流を通じて様々な体験をすることで、参加する児童が今後成長していく上での活力や目標づくりの契機となること及び将来に向けた両市村の更なる友好の絆を深めることを目的とする。</p> <p>また、小金井市児童には、三宅村の大自然の中で、都会では感じることのできない自然の豊かさとともに、噴火の被災状況や自然災害の脅威を学び、火山と共に生きる人々のたくましさを感じてもらおう。そして、村だけでなく友好都市小金井の多くの子どもたちが、毎年顔ぶれを変えながら脈々とこの経験を伝えていくことを目的とする。さらに、三宅村児童には、島内の子どもが少ない環境の中で学校、日常生活を送ってきている中、全く違った環境で生まれ育った児童と交流を持つことで、新たな発見や刺激を見つけてもらい、改めて島の自然や復興の中での暮らしについて考え、その魅力や心構えを見直すことに繋げてもらう。</p> <p>加えて、本事業を契機として、改めて小金井市と三宅村が友好都市であるということを広くPRし、両自治体や友好協会以外にも市民レベルでの交流が促進されることを目指す。</p> <p>【内容】三宅島全体をフィールドとした自然体験学習を行う。</p> <p>(1) 火山体験学習、郷土資料見学</p> <p>(2) 児童レクリエーション(アイスブレイク)</p> <p>(3) 海辺の自然観察(シュノーケル、フィッシュウォッチング、ビーチコーミング、船上自然観察)</p> <p>(4) 自然探索、シーカヤック体験</p> <p>(5) バードウォッチング</p> <p>(6) 三宅島伝統芸能鑑賞</p>

令和7年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表
(子ども体験塾)

NO	①年数	②連携組織名	③構成自治体等	④事業名	⑤申請額	⑥事業内容
15	H22～ 16年目	5市共同事業 実行委員会	武蔵野市、三鷹 市、小金井市、国 分寺市、国立市	5市共同事 業子ども体 験塾「アニメ キッズフェ ス！」	9,600,000	<p>【目的】 5市市内にはスタジオジブリをはじめとして、著名なアニメーション制作会社が多数存在している。子どもたちが興味を持ちやすいアニメをテーマとし、地元から発信される作品や地元がロケ地となっている作品等を視聴することを通して、地元への理解や愛着を深めるとともに、アニメに係るワークショップ等で感動的な体験をすることにより、豊かな想像力を育むことを目的とする。</p> <p>【内容】 株式会社スタジオジブリ及び株式会社びえろが制作したアニメーションの上映会と上映作品に関するイベント、スタンプラリー、ワークショップ等を開催する(委託事業者の提案により、内容に一部変更となる場合がある。) ①映画上映会及び上映後イベント ②ジブリ美術館コーナー(特別展示等) ③びえろコーナー(フォトスポット等) ④アニメに関するワークショップ ⑤アニメに関する感動体験 ⑥スタンプラリー ⑦カフェスペース</p>
16	H22～ 16年目	多摩北部広域 子ども体験塾 実行委員会	小平市、東村山 市、清瀬市、東久 留米市、西東京 市、多摩六都科学 館	たまろく恐 竜ラボ き みも博士 だ！恐竜調 査に乗りだ そう！	9,600,000	<p>【目的】 ・学校や書籍では得られない恐竜についての体験的知識を得て、興味・知識を深めるとともに、子どもたちの知的好奇心を育む。 ・日々進化している研究により近年新たな発見もある恐竜をテーマに、未知の分野に対する探求心や創造力を育む機会とする。 ・異なる地域及び異なる年齢間において、共通の体験をすることで協調性と社会性を学ぶ場とする。</p> <p>【内容】 ＜夏季プログラム①＞7月下旬 ○テーマ: きみも恐竜博士！? 古生物学者のお仕事体験 対象: 低学年(小1～小3)×2回、高学年(小4～中3)×2回 各回定員24名(合計96名) 会場: 多摩六都科学館 内容: 恐竜研究者のお仕事をテーマに講師による解説、発掘キットを使用した発掘体験(発掘→骨格組み立て→肉付け、命名) ＜夏季プログラム②＞7月下旬及び、8月上旬 ○テーマ: 国立科学博物館見学 対象: 低学年(小1～小3)×1回、高学年(小4～中3)×1回 各回定員30名(合計60名) 場所: 国立科学博物館 内容: 博物館見学、専門家による解説、たまろく恐竜らぼオリジナル恐竜ARぬり絵 ＜秋季プログラム＞10月中旬から下旬 ○テーマ: 恐竜復元にチャレンジしよう! 対象: 低学年(小1～小3)×2回、高学年(小4～中3)×2回 各回定員30名(合計120名) 会場: 多摩六都科学館 内容: 専門家による解説、恐竜復元イラスト制作 ＜冬季プログラム①＞12月中旬 ○テーマ: 恐竜復元イラスト発表会練習 発表者対象: 秋季プログラム参加者のうち20名 会場: 多摩六都科学館 内容: 発表会の練習 ＜冬季プログラム②＞12月下旬 ○テーマ: 恐竜復元イラスト発表会 対象者: 秋季プログラム参加者とその保護者 定員234名 会場: 多摩六都科学館 内容: 恐竜復元イラスト発表、秋季プログラムで制作した恐竜復元イラストの展示及び上映 ＜抽選漏れの方への特別コンテンツ＞ ・夏季プログラム②で使用したオリジナル教材のデータを提供(多摩六都科学館ホームページ内にて誰でもダウンロード可能とし、圏域の子どもへ体験の機会を提供する。) ・多摩六都科学館にて上映する恐竜の大型映像を無料観覧とする。</p>

令和7年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表
(子ども体験塾)

NO	①年数	②連携組織名	③構成自治体等	④事業名	⑤申請額	⑥事業内容
17	H22～ 16年目	大島・子ども 体験塾実行委 員会	あきる野市、羽村 市	大島・子ども 体験塾	4,968,000	<p>【目的】 あきる野市・羽村市が共同で開催し、地域間、異年齢間の交流や大 自然を舞台とした、様々な活動及び体験を通じて、心身を鍛え自らの 力で積極的に社会貢献できる人材を育成すること</p> <p>【内容】 1 指導者・リーダー会議:事業の説明、役割分担や安全管理の確認 等 2 保護者説明会:事業の概要及び注意事項等を説明、指導者・リー ダー・随員職員の紹介等 3 事前活動:開校式。両市参加者混合でグループ分けした班ごとの 仲間作り、現地活動の趣旨説明、船中及び行程上の諸注意の説明 4 現地活動: (1～2日目)大型客船にて東京竹芝出港／東京の夜景体験／翌日 早朝大島到着／宿舎にて朝食／大島町役場挨拶／宿舎にて昼食／ 火山博物館見学／磯遊び・レクリエーション／宿舎へ (3日目)日の出浜で海水浴・シュノーケリング／星空観察 (4日目)三原山登山(登山道での溶岩、植物観察)／ふるさと体験館 椿油しぼり等の体験(体験学習)／高速船にて大島港出港 5 事後活動:感想文の提出。大島での体験学習を振り返り、学習成 果を班ごとにまとめ、壁新聞を作成し保護者等の前で発表。閉校式。 後日、あきる野市役所での展示、羽村市青少年健全育成の日事業で の展示や代表者による感想文発表。</p>
18	H22～ 16年目	青梅市・羽村 市・瑞穂町子 ども体験塾実 行委員会	青梅市、羽村市、 瑞穂町	子ども体験 塾「謎を解 け！頭を使 え！学べ！ 楽しめ！」	3,000,000	<p>【目的】 自分で考えて行動する力を養うことは主体的に学習・思考する力を引き 出す。本事業では、体験型ワークショップ「体験型謎解きゲーム」で 自ら考えてひらめく楽しさ、自発的な学びの楽しさを体感し学ぶ機会と して実施する。ホール事業では、「命」など漢字を体で表現するギャグ でおなじみのゴルゴ松本さんによる講演を行い、魂のこもった熱い授 業で、「命」や「生きること」について考え、学ぶ機会とする。</p> <p>・内容 ①各市町会場でのワークショップ 体験型謎解きゲームを通して、問題を解決する論理的思考力を鍛え る機会を提供し、成功体験を積むことで自信を育む機会とする。 【業務委託団体】AnotherVision(東京大学謎解き制作団体) ②ホール事業 「命」など漢字を体で表現するギャグでおなじみのゴルゴ松本が漢字 の話、歴史の話など笑いを交えながら、「命」「言葉」「人生」「日本人」 をテーマに魂のこもった熱い授業で、「命」や「生きること」について考 える、学ぶ機会とする。 【出演】ゴルゴ松本</p>

令和7年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表
(子ども体験塾)

NO	①年数	②連携組織名	③構成自治体等	④事業名	⑤申請額	⑥事業内容
19	H22～ 16年目	町田市・多摩市・稲城市子ども体験塾実行委員会	町田市、多摩市、稲城市	町田市・多摩市・稲城市子ども体験塾実行委員会2025子ども体験塾「東京の秋冬満喫キャンプ(仮)」	4,688,584	<p>【目的】 子どもたちの健全育成のために、普段経験できない非日常的な事業を実施することにより、子どもたちが体験を通じて感動を得ることを目的とする。これらの感動体験を通じて、子どもたちが自信を持ち、地域の担い手となるよう育成する。なお、連携する三市が持つ人材や施設を活用し、大学や企業等の協力を得て、高度で大規模な感動を与えることが可能となる。</p> <p>【内容・実施場所・対象者・参加予定人数】 ＜内容＞ 町田市内唯一の公共宿泊施設である「Nature Factory 東京町田」で、指定管理団体の一つである「NPO法人国際自然大学校」と連携し、同施設の資源やイベント運営のノウハウを活用したキャンプ活動を通し、多摩地域の魅力を発信する。あわせて、子どもたちが学校や家庭以外の場で、「自然」「季節」をテーマとした宿泊体験・自然体験活動を他市の子どものとの交流を通して実施する。体験内容は秋から冬にかけての季節ならではのものとし、全3回(各1泊2日)行う。</p>
20	H22～ 16年目			町田市・多摩市・稲城市子ども体験塾実行委員会2025子ども体験塾「ミュージカル体験ワークショップ」	6,916,800	<p>【目的】 子どもたちの健全育成のために、普段経験できない非日常的な事業を実施することにより、子どもたちが体験を通じて感動を得ることを目的とする。これらの感動体験を通じて、子どもたちが自信を持ち、地域の担い手となるよう育成する。なお、連携する三市が持つ人材や施設を活用し、大学や企業等の協力を得て、高度で大規模な感動を与えることが可能となる。</p> <p>【内容・実施場所・対象者・参加予定人数】 ＜内容＞ 歌って踊って演じるコース、舞台音響照明コースの2コースに分かれ、ミュージカルというエンターテインメントの理解および舞台を作り上げるために必要な舞台の裏方を知る。また、歌って踊って演じるコースでは演技や発声・ダンスの基礎、舞台音響照明コースでは、舞台、音響、照明の各セクションの基礎知識や操作方法を学び、それぞれのコースの成果を発表会形式で披露する機会を創出する。各コースで学んだ成果をステージ上では歌唱、ダンス、演技などの表現方法を用いてパフォーマンスを行い、その裏では照明の演出や音響卓にて音量調整等の操作を行い、合同で1つの舞台を作り上げることに挑戦する。クラスの仲間とチームビルディングや様々な表現方法を工夫することの楽しさ、各コースに分かれて練習してきた成果が本番になって一つのミュージカル作品となる新たな発見、達成感、満足感を学ぶ。</p>